

今年最大級の台風19号が前日の夜伊豆半島に上陸して東日本へ抜けました。多くの川が氾濫し70人以上の死者が出ましたが、幸い名古屋では目立った被害は報告されず、この日は台風一過の晴天となりました。

里山の家での持ち込み観察項目：カラスウリ、ヤブマメとツルマメ、ミツバアケビの種、アケビの実、平成17年のハンノキ湿地の甲虫調査の標本箱、ホシヒメホウジャク、ウシガエルのオタマジャクシ、モツゴ、オオスカシバの幼虫

ヒガンバナの花が咲いていました。終わった花には実のようなものがありました。ヒガンバナにはほとんど種がつかず球根で増えるとのことでした。ジュズダマは花と実が見られ、昔ジュズダマでアクセサリーを作ったと大人に教えられた女の子が、熟した実を集めていました。足元にはボントクタデが見られました。



ヒガンバナ



ジュズダマの花



ボントクタデ

ハンノキにハンノキハバチの幼虫がたくさんついていました。3対の胸脚だけでつかまり、腹を裏返すようにしているのを見て、何のためにそうしているのか考えました。「威嚇」「大きく見せている」「腹脚をトゲが生えているように見せている」などの意見が出ました。道沿いに咲いているキクイモの花を見て、根こそぎ引き抜いてみると小さな芋がついていました。醤油漬けや味噌漬けにして食べることができるそうです。



ハンノキハバチの幼虫



キクイモの花



キクイモの根

せせらぎ沿いのヤナギにオオスズメバチが来ていました。幹をかじっているように見えたが、今は巣を作る時期ではないためかじって樹液を出しているとのことでした。コバネイナゴが木の幹にとまってほとんど動かないので、日向で身体を暖めているのではと推測しました。畑では数人が作業をしていました。



オオスズメバチ



コバネイナゴ



畑の様子

水辺で高校生がアオバアリガタハネカクシを見つけてケースに入れました。この虫は体液に毒があり、うっかりつぶさないよう注意がありました。つどいの丘に置かれた大きな石臼は子どもが二人がかりで動かそうとしてもビクともしませんでした。落ちていたキリの実の中を見ると小さな種がたくさん入っていました。



アオバアリガタハネカクシ



石臼



キリの実

子どもがゾウムシを捕らえ、ゾウムシに詳しい参加者がハスジカツオゾウムシと教えてくれました。翅の一部が欠けているようでした。足元の落ち葉の中からセンチコガネが見つかりました。最近センチコガネに夢中になっているという子どもが色を確認していました。センチコガネは翅の色に個体差があり、コレクターがいるそうです。近くの倒木にカワラタケがついていました。裏側にひたがないのが特徴とのことでした。

ハスジカツオゾウムシ



センチコガネ



カワラタケ

続いて湿地の植物を観察しました。満開のシラタマホシクサの中にサワギキョウ、スイランが咲いていました。たくさんのミソソバも花盛りで、イチモンジセセリが吸蜜しにやって来ていました。



シラタマホシクサ



スイラン



ミソソバで吸蜜する
イチモンジセセリ

田んぼは稲刈り間近でした。コハルモチという餅米とのこと。ひとり一粒ずつ粃を取り、粃殻を剥いて玄米を取り出し胚芽の部分を確認しました。また粃の先の芒(のぎ)が茶色いことが紹介されました。玄米を食べた参加者は味が無いと言っていたのですが、続いて食べ比べた古代米の玄米は美味しいとの声が上がりました。



粃殻を剥いて玄米を取り出す



コハルモチの芒(のぎ)



コハルモチの粃(左)と玄米

この日は成長したジョロウグモやナガコガネグモを数多く見かけました。前日の台風接近による風の影響はあまりなかったようです。参加者の女性の目の前にクロコノマチョウがヒラリと姿を現わして驚かせました。



ジョロウグモ



ナガコガネグモ



クロコノマチョウ

終了後の振り返りでは、虫が普段より少なく感じたという声が多く聞かれました。それが前日の台風のためなのか季節の移ろいのせいかわかりませんが、乾燥した空気に本格的な秋の訪れを感じる自然観察会でした。

平和公園での観察項目: ルリタテハ, セイタカアワダチソウ, ヒガンバナ, ジュズダマ, タチスズメノヒエ, シマスズメノヒエ, ポントクタデ, イヌタデ, キタキチョウ, キクイモ, ハンノキハバチの幼虫, クコの花, オオカマキリ, コパネイナゴ, ジョロウグモ, ウラナミシジミ, オオスズメバチ, カブトムシの残骸, アオバアリガタハネカクシ, アオマツムシの雌, 石白, 卵を持ったアメリカザリガニ, オカメコオロギ, キリの実, ハスジカツオゾウムシ, ヒルの仲間, センチコガネ, カワラタケ, シラタマホシクサ, スイラン, サワギキョウ, ミソソバ, ヤブマメ, イチモンジセセリ, イネ(コハルモチ), 子どもをかかえたアメリカザリガニ, ナナホシテントウ, ヒメタイコウチ, コハルモチの粃の芒(のぎ), 古代米, ヌマガエル, カゼクサ, ヌカキビ, ヒメカメノコテントウ, クロコノマチョウ